

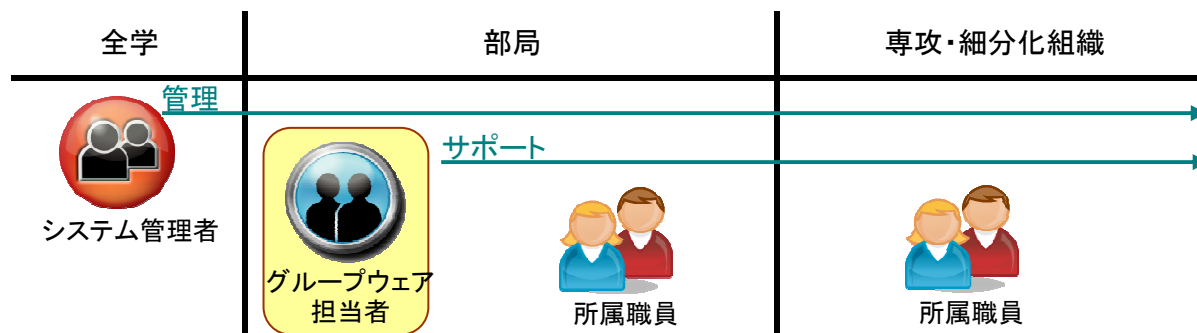
グループウェア担当者の役割について

◆グループウェア担当者とは？

グループウェア導入に当たり、各部局においてグループウェアの運用をサポートをする方を置いていただきたいと考えています。

全学の組織すべてをシステム管理者が管理すると、非常に多くの問い合わせや管理操作依頼がシステム管理者に寄せられ、対処するのが難しくなってしまうことが予想されます。

そこで各部局等に担当者を置き、部局内等で完結できる範囲に関しては、対応していただくことを想定しています。このような仕事をしていただく方を「**グループウェア担当者**」とします。



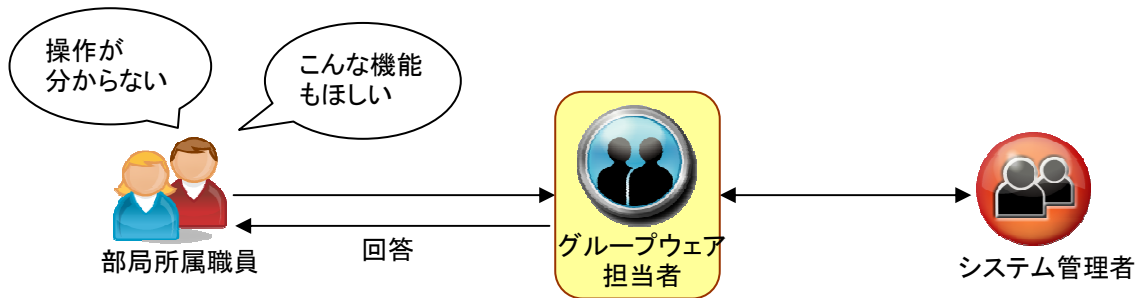
◆グループウェア担当者の仕事

グループウェア担当者の仕事には、大きく分けて以下の二つがあります。

- ・ 部局所属職員からのグループウェアについての問い合わせ対応
- ・ 独自グループの作成・メンバーの設定

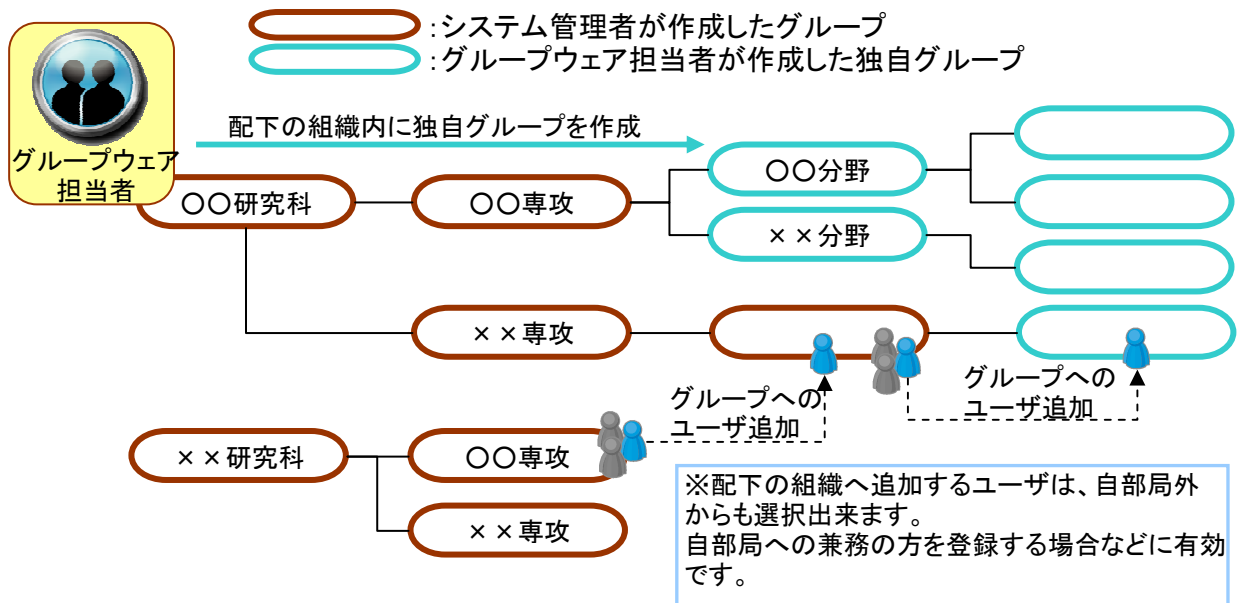
部局所属職員からのグループウェアについての問い合わせ対応

部局所属職員からグループウェアについての問い合わせがあった場合、グループウェア担当者が回答できる範囲に関しては、直接回答していただきます。
回答できない内容だった場合には、システム管理者に連絡していただきます。



独自グループの作成・メンバーの設定

グループウェアのアプリケーション(スケジュール・掲示板など)内で使用する組織として、人事給与システムに登録されている組織についてはシステム管理者側であらかじめ登録します。それ以外の独自グループを部局内で作成したい場合、グループウェア担当者に操作していただきます。独自グループへのメンバーの追加・削除についてもグループウェア担当者が行う操作になります。



※ユーザは、初期状態では人事給与システムに登録されている組織に自動的に所属登録されます。

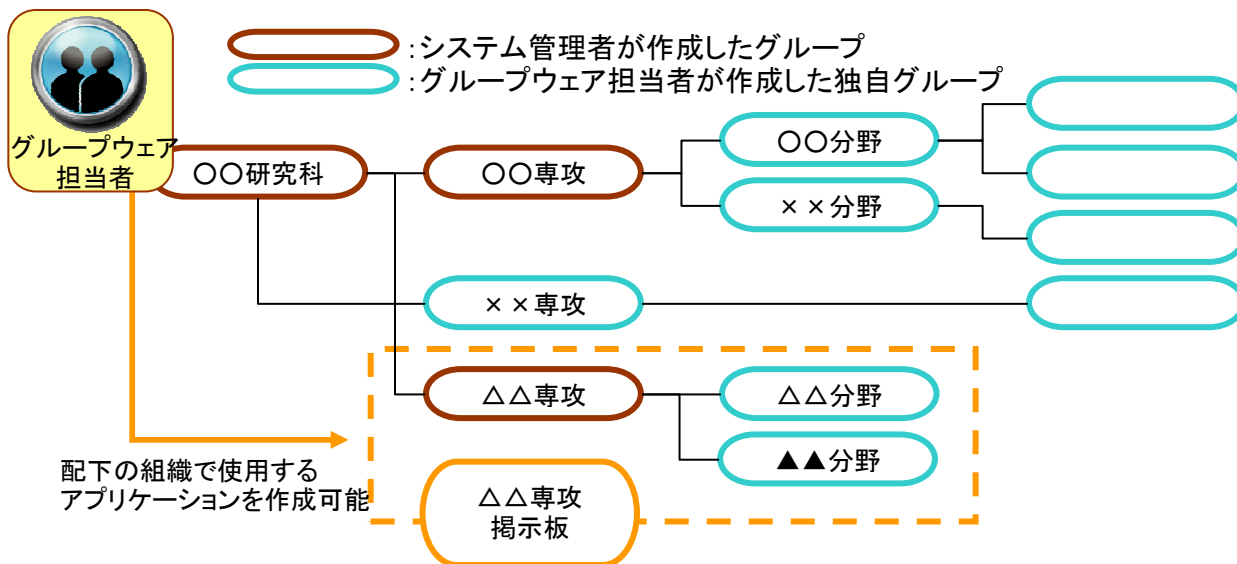
また、人事給与システム上で所属が変更された場合には、それまでの所属情報はクリアされ、変更後の所属が登録されます。

【参考】グループウェア担当者向けの機能について

グループウェア担当者は、独自グループの作成に加え、以下のようなことも出来るようになります。グループウェアを部局内でより有効的に活用するための参考としてください。

担当配下のアプリケーションの設定

グループウェア担当者は、担当配下のグループ内部で使用するアプリケーション（掲示板やファイルライブラリ等）を自由に作成・設定できます。



下位組織へのグループウェア担当者の指定

グループウェア担当者は、下位組織（専攻等）のグループウェア担当者を指定することが出来ます。
担当組織が大きい場合等、細分化組織にも担当者を設置したい場合に行ってください。

